

宮城県土木部 復興だより第30号

contents

- 復旧・復興事業の進捗状況【令和元年8月末現在】
- 復興トピックス（平成31年4月～令和元年9月）
- 【第30号特別企画】気仙沼大島大橋の軌跡



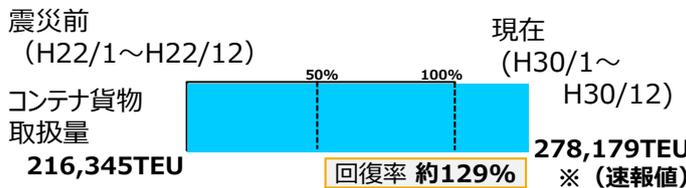
復旧・復興の進捗状況【令和元年8月末現在】

●災害復旧工事の進捗状況



■ 着手率：工事請負契約を締結したもの
■ 完成率：工事が完了したもの

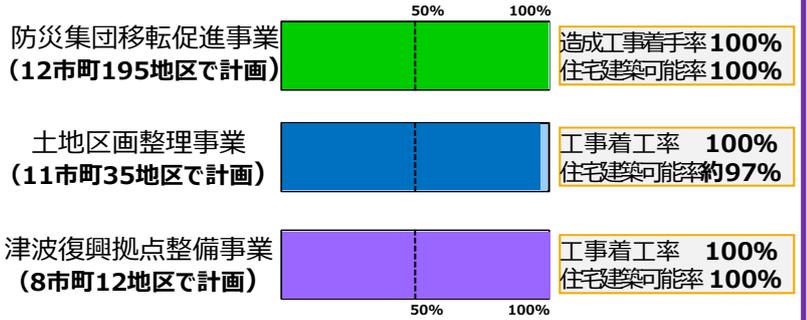
●仙台塩釜港（仙台港区）コンテナ貨物取扱量



■ 回復率：震災前(H22/1～H22/12)に対して現在(H30/1～H30/12)のコンテナ取扱量(TEU)の割合

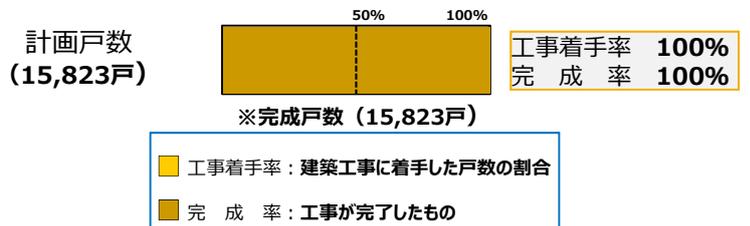
※TEUとは20フィートコンテナ1個分相当を示す単位

●復興まちづくり事業の進捗状況



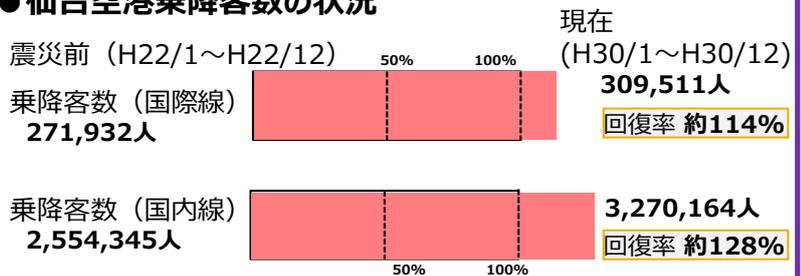
■ 造成工事着手率：工事請負契約の締結などが完了した地区数の割合
■ 住宅建築可能率：造成工事が完了するなど住宅等建築工事が可能となった地区の割合
■ 工事着工率：施工業者が事業用地内の工事に着手した地区の割合

●災害公営住宅の整備状況



■ 工事着手率：建築工事に着手した戸数の割合
■ 完成率：工事が完了したもの

●仙台空港乗降客数の状況



■ 回復率：震災前(H22/1～H22/12)に対して現在(H29/1～H29/12)の仙台空港乗降客数の比率

▲宮城県では、毎月復興の進捗状況を取りまとめて公表しています。詳しくは下記URL又はQRコードを参照願います。

・震災復興・企画部震災復興政策課ホームページ「復興の進捗状況」

<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/shintyoku.html>

・土木部土木総務課ホームページ「東日本大震災からの復旧・復興事業の進捗状況」

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/doboku-sintyoku-press.html>



復興トピックス

(平成31年4月～令和元年7月上旬)

4月

●4/7 気仙沼大島大橋 開通

●4/12 客船「ダイヤモンド・プリンセス」寄港

●4/26 矢本海浜緑地 開園

●5/26 名取市閑上地区まちびらき記念式典
開催

5月

●5/26 啓翁桜の植樹 in 向洋海浜公園

●5/29 令和元年度第1回石巻南浜
津波復興記念公園有識者委員会 開催

●5/31～6/6
令和元年度 みやぎの復興まちづくりパネル展
in 千葉県 開催

6月

●6/1 中の島公園 利用開始

●6/9 みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期
(築館工区) 開通

●6/30
(一)馬場只越線
只越橋 開通



開通した只越橋の様子

7月

●7/4 「石巻港」をテーマに出前講座を実施

●7/9 (主)石巻鮎川線 小網倉浜復興道路 開通

●7月9日 (主)石巻鮎川線 小網倉浜復興道路開通

小網倉浜復興道路は、東日本大震災で甚大な被害を受けた石巻市小網倉浜地区の防災集団移転地と清水田浜地区を結び、石巻市市街地を接続する復興道路として、平成24年度より整備を進めてきました。

このたび、車道部の工事が完成し、現道で実施中の防潮堤及び道路災害復旧工事の円滑な進捗を図るため、暫定供用を開始しました。令和元年7月9日に供用式を開催し、地元住民や関係者をはじめ、新たな復興道路の供用を祝いました。



●4月26日 矢本海浜緑地 開園

県立都市公園矢本海浜緑地は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の津波により壊滅的な被害を受け、休園を余儀なくされておりましたが、東松島市大曲浜地区にて移転再整備を行い、平成31年4月26日に再開園しました。



●5月31日～6月6日 みやぎの復興まちづくりパネル展 in 千葉県 開催

5月31日から6月6日まで、千葉県後援の下、千葉市の複合施設「Qiball(きぼーる)」において「みやぎの復興まちづくりパネル展」を開催しました。

今回は、当室のパネル30枚、本県防災砂防課の「3.11伝承・減災プロジェクト」パネル12枚に加え、千葉県応援派遣職員の方が取り組まれた復興事業について紹介するパネル4枚も展示しました。

多くの来館者の皆様に、宮城県の復興の姿を知っていただくことができました。



●6月9日 みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期 (築館工区) 開通

6月9日に「みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期(築館工区)」が開通しました。築館工区は、築館東ICから栗原市中心部の国道4号築館バイパスまでの約1.7kmの区間であり、平成25年度より整備を進めてきました。

今回の開通により、栗原市・登米市間のアクセス向上や栗原市中心部の交通渋滞の緩和が見込まれます。

また、現在整備中のⅢ期(佐沼工区)が開通すると、栗原市から石巻市までのアクセス時間が25分短縮されるなど、内陸部と沿岸部間の移動の利便性向上が図られるとともに、本県の復興にも大いに寄与するものと期待されます。



復興トピックス

(令和元年7月中旬～9月)

7月

●7/18 令和元年度宮城県建設工事表彰式・
事故防止対策推進大会 開催

●7/28 客船「ダイヤモンド・プリンセス」寄港

●7/31 (一) 清水浜志津川線 清水橋 開通



開通した清水橋の様子

●7/25～8/2 2019夏休み！小学生と保護者の
親子現場見学会 開催

●8/6 「石巻港探検ツアー」開催

●8/9 大規模災害時における建設発生土の
受入に係る情報提供等に関する協定 締結

●8/18 2019夏休み！小学生と保護者の
おうちづくり学校見学会 開催

●8/21 客船「オーシャンドリーム」寄港

●8/27～28 みやぎの復興まちづくりパネル展
in神奈川県 開催

●9/17～20 東日本大震災からの復興まちづくり
パネル展 ～いわて・みやぎ・ふくしま～ 開催予定

9月

●7月25日～8月2日 2019夏休み！小学生と保護者の 親子現場見学会 開催

工事現場の見学や体験コーナーで建設機械等に触れるなど「ものづくり」の楽しさを体感していた
だき、建設産業の魅力と役割について
理解していただくため、小学生と
その保護者を対象に「親子現場見
学会」を開催しました。

7月25日～8月2日で延べ7日間
実施し、299名の方々にご参加いた
だきました。



●8月18日 2019夏休み！小学生と 保護者のおうちづくり学校見学会 開催

塗り壁(こてを使って塗り上げる作業)やレンガ・タイル張りな
ど、家づくりの技能を体感していただき、
建設産業の魅力と役割について理解
していただくため、小学生とその保護者
を対象に「おうちづくりの学校見学会」
を開催しました。

8月18日に開催し、20名の方々
にご参加いただきました。



●7月18日 令和元年度 宮城県建設工事表彰式・ 事故防止対策推進大会 開催



宮城県建設工事表彰式では、「優良建設工事施工業者」
及び「建設工事事故防止優良者」が表彰されました。

宮城県建設工事事故防止対策推進大会は、事故防止対策
の推進と工事関係者の安全意識の高揚を図り、建設工事にお
ける事故防止に寄与することを目的として開催しました。

●8月9日 大規模災害時における建設発生土の 受入に係る情報提供等に関する協定 締結

宮城県土木部と宮城県建設発生土リサイクル協同組合は、
大規模災害発生時の災害復旧工事の実施にあたり、現場で
発生した建設発生土の受入に係る情報や応急資材の提供等
について協定を締結しました。



●8月21日 客船「オーシャンドリーム」寄港

株式会社ジャパングレイスが運航する客船「オーシャンドリ
ーム」(総トン数35,265t、全長205m)が8月21日に仙台塩釜港石
巻港区(雲雀野中央ふ頭)に寄港しました。オーシャンドリ
ームは平成25年以来、6年ぶり2回目の寄港となりました。当日は、
入港時の歓迎イベントとして地元市町のゆるキャラなどが描か
れた大漁旗によるお出迎えや「雄勝町伊達の黒船太鼓保存
会」の皆さんによる演奏が行われました。

オーシャンドリームは、花火が打ち上がる中、たくさんの人々
にペンライトで盛大に見送られ、神戸港へ向け出航しました。



～気仙沼大島大橋 開通までの軌跡～

平成23年度に事業着手し、平成31年4月7日（日）に開通しました。
本トピックでは、大島架橋事業の着手から完成に至る宮城県取組について振り返ります。



事業着手から完成の経緯

昭和

- 42年10月 県勢発展計画に位置付け
- 62年4月 気仙沼大島架橋促進期成同盟会結成

平成

- 13年3月 大島架橋整備を公表
- 22年8月 気仙沼大島架橋事業説明会を開催
(橋の形式・工事概要を発表)
- 23年3月11日 東日本大震災発生
- 23年8月 東日本大震災の被害により、県道のルートを見直し
- 24年1月 大島架橋事業着手式
- 25年1月 大島架橋事業着工式
- 26年10月 浦島1号トンネル工事 完成
- 26年11月 大島架橋本体工事 着工式
- 27年3月 浦島2号トンネル工事 完成
- 27年9月 大浦地区 一部供用開始
- 27年10月 乙姫トンネル工事 完成
- 27年12月 浪板2区防災集団移転団地アクセス道路
一部供用開始
- 29年2月 二ノ浜地区～三ノ浜地区 開通
- 29年3月 大島架橋上部工 架設工事完了
- 29年10月 大島架橋本体工事 完成
- 31年4月 浪板橋～磯草 開通

事業着手前の 大島と本土の様子



大島大橋開通後の 大島と本土の様子



平成29年3月 上部工 架設工事完了

中央径間（長さ228m、高さ約30m）へのワイヤー取付作業を行った後、重さ約2,700tの中央径間を吊上げ、大島瀬戸に向けて曳航を開始しました。

架橋地点である大島瀬戸に到着し、側径間と中央径間の接合作業を行いました。
本土と大島がつながる歴史的な瞬間を迎えることができました。



平成29年10月 大島架橋本体工事 完成

平成29年3月末に本体架設を行い、その後、本体部の溶接、架設時の補強材撤去及び交通安全施設設置など工事を進めてきましたが、平成29年10月17日に完了しました。

供用に向けてライフライン工事（水道・電気等）や舗装工事を進めていきました。



平成31年4月 浪板橋～磯草 開通

「復興のシンボル」として整備を進めてきた「気仙沼大島大橋」は、平成31年4月7日（日）に開通しました。

今回の開通により、本土と大島が陸路でつながりました。大島地区住民の日常生活における利便性の向上や救急医療活動への支援、観光交流や産業の活性化などが期待されます。



本土と大島が陸路でつながりました！ぜひ大島大橋へ！

▲詳しくは気仙沼土木事務所ホームページをご覧ください。

大島がけはし：<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-doboku/o-news.html>



○記事に関する問い合わせ○

宮城県土木部土木総務課企画調整班

TEL：022-211-3108

E-mail：dobokgk1@pref.miyagi.lg.jp

HP：<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/>